

1 学校教育目標

『心豊かでたくましく、生きる力のある生徒の育成』
スローガン：「真心をもって行動し、志を立てよう」

2 めざす生徒像

(1) 力のある生徒

- ア 基礎・基本を大切にし、着実に努力する生徒
- イ 学び方を身につけ、主体的に学習する生徒
- ウ 進んで運動に親しみ、体を鍛える生徒

(2) 正しい生徒

- ア 正しい判断力をもち、よりよい学校生活を築こうとする生徒
- イ 自らを律しつつ、他と協調し合える生徒
- ウ 命の尊さに気づき、心身の健康を大切にする生徒

(3) 美しい生徒

- ア 心をつなぐ挨拶ができ、基本的な生活習慣を身につけた生徒
- イ 奉仕の心を尊び、労をいとわず働く生徒
- ウ 他を思いやる心や感謝の心など、豊かな心をもつ生徒

3 めざす教師像

- (1) 日々の実践は教育目標達成のためと心得、チームの一員として活動する教師
- (2) 修養を重ねることで人間力と指導力を、自ら高めていく教師
- (3) 学びを耕す授業改善に努め、生徒の学ぶ意欲を引き出す、指導力のある教師
- (4) 誠実な姿勢で、信頼を得る教師
- (5) 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、真のニーズを理解する教師

4 めざす学校像

- (1) 元気な挨拶と笑顔があふれる、明るい学校
- (2) 歌声が響き温もりのある、楽しい学校
- (3) 自治と正義が育つ、活力ある学校
- (4) 主体的に探求し表現できる、学ぶ心を育てる学校
- (5) 安全で地域と共にある、信頼される学校

5 本年度の重点課題

- (1) 確かな学力の向上を図る。
 - 基礎基本の定着と基礎学力の向上（家庭学習の充実）
 - 個に応じた学習支援の充実（配慮が必要な生徒への支援）
- (2) 不登校生徒の解消を図る。
 - 組織的な指導・支援体制の確立（学習支援の充実）
 - 教育相談部会の充実（生徒指導委員会との連携）
- (3) 規範意識の向上を図る。
 - 自治意識を高める話し合い活動の充実及び全職員の結束力の向上
 - 教育相談活動の充実と望ましい集団活動の実践
- (4) 行事や部活動を通して人間形成を図る。
 - 思いやりのある豊かな心と健やかな体の育成
 - 集団を高める活動を通しての個の育成
- (5) 道徳教育の充実を図る。
 - 道徳の実践力の育成と自己指導能力の育成

6 経営の具体的方針

(1) 生徒主体の学校経営

- ア 生徒一人一人が将来への夢や希望をもち、知識基盤社会の時代を生きる力を育む。
- イ 教師と生徒、生徒同士が豊かな人間関係を育み、心の居場所となる学年・学級経営に努める。
- ウ 学校と地域の連携を深め、その教育力を積極的に活用しあう開かれた学校づくりに努めるとともに内部評価・学校関係者評価を実施し、学校経営の改善に生かす。

(2) 学習指導の充実

- ア 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- イ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、個に応じた指導法の改善に努める。
- ウ 指導と評価の一体化の観点から、指導の改善に役立つ評価のあり方を工夫し充実させる。
- エ 調和のとれた教育課程実施の観点から、授業時数確保のため、補充・交換を積極的に行う。
- オ 図書室の活用を一層図り、読書活動を充実させることにより、しなやかな感性を培う。

(3) 道徳教育の充実

- ア 道徳教育推進教師を中心として、道徳の時間の確保、学年ごとの指導内容の重点化など、指導体制の充実を図る。
- イ 奉仕・自然体験など、豊かな体験活動を重視し、全教育活動を通して道徳性の育成を図る。
- ウ 命を大切に作る心、他を思いやり共生する心、規範意識や正義感の育成の指導を重視し、思いやりのある「豊かな心」を育む。

(4) 特別活動・進路指導の充実

- ア 特別活動の各内容や特質をふまえ、生徒を前面に出した自発的・自治的な活動を重視し、自主的、実践的な態度を育てる。
- イ 生徒が主体的に進路を選択できるよう、将来の夢や希望を重視した生き方指導の充実を図る。
- ウ 啓発的な体験学習を核とした、計画的・継続的な進路指導の充実を図る。
- エ 生徒との望ましい人間関係を深め、受容的・共感的な進路指導の充実を図る。

(5) 生徒指導の充実

- ア 共通理解、共通実践に基づいた生徒指導体制を確立する。
- イ 生徒指導の機能（共感的人間関係、自己存在感、自己決定）を生かした教育を充実させ、生徒個々の自己実現を図り、自尊感情を育てる。
- ウ 教育相談の機能を高め、発達に即した生徒理解を深めるとともに、相談活動を充実させる。
- エ 長欠・いじめは、どの生徒・学級にも起こり得るとの認識にたち、生徒のサインを見落とさず、初期対応を的確に行うとともに、予防的指導を充実させその解消を図る。

(6) 人権教育の充実

- ア 人間尊重の精神を育み、差別やいじめのない明るい学校・学級づくりに努める。
- イ 体験活動をとおして、お互いに協力し合い人を思いやる人権尊重の心を育てる。
- ウ 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。

(7) 体育・健康・安全教育の充実

- ア 保健体育の授業改善に取り組み、授業を通して運動が好きな生徒を育成する。
- イ 養護教諭を中心に職員が連携して保健指導の充実を図り、健康課題の解消に努める。
- ウ 家庭や地域社会と連携して望ましい食生活を実現しようとする態度を養い、食事を楽しもうとする生徒の育成を図る。

(8) キャリア教育の充実

- ア 職業体験学習等を通して、働くことの意味と楽しさがわかる教育を推進する。
- イ 教育課程への位置づけとその工夫を図る。
- ウ 進路指導の一層の充実を図る。（キャリアパスポート）

(9) 特別支援教育の充実

- ア 学校全体で取り組むとともに、関係諸機関と連携した総合的な支援体制を整備する。
- イ 特別支援学級と通常の学級との交流を図り、緊密に連携する。